

県民の皆さんのご意見をお寄せください

～「神奈川県高等学校教育改革実行計画(仮称)」骨子案について～

県教育委員会では、国が進める高校教育改革における、改革先導拠点の取組を含め、県内に高校教育改革を広く推進するため、「神奈川県高等学校教育改革実行計画(仮称)」骨子案を作成しました。

そこで、「実行計画(仮称)」骨子案に関し、県民の皆さんからご意見を募集いたします。

募集期間 令和8年9月 29 日(火)～10 月 28 日(水)

1 骨子案の公表場所

- ・ ホームページ <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/pub/c8993328.html>
- ・ 県政情報センター、各地域県政情報コーナー、教育局総務室窓口での印刷物による縦覧

2 意見提出方法

(1)フォームメール(ホームページの画面上でご意見を入力し、送付することができる仕組みです。)

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=135621

(2)郵送

〒231-8588(住所の記載は不要です。)

神奈川県教育委員会 教育局 総務室 県立高校改革グループ 宛

※意見募集期間最終日必着

※手話を撮影・録画したDVDにより意見を提出する場合は、上記宛先に郵送

(3)ファクシミリ

045-210-8920

※なお、お電話によるご意見は受け付けていません。

3 問合せ先

神奈川県教育委員会教育局総務室 県立高校改革グループ 加藤・川角 電話 045-210-8280



←骨子案について



←ご意見はこちら

神奈川県高等学校教育改革実行計画(仮称) 骨子案 概要

～ 未来を拓く人を育てる 神奈川の高校教育改革 ～

神奈川県教育委員会
令和8年9月

I 計画の概要



計画期間
令和9年度～令和13年度
(5年間)



目指す姿

国の高校教育改革の基本方針等を踏まえ、2040年を展望し、社会・産業の変化や生徒の多様な学習ニーズに対応した高校教育を、県全体で推進する。

II 高校教育を取り巻く現状・課題



人口減少・高齢化

- ・ 中学校卒業生数の減少
- ・ 生産年齢人口の減少(2020年62.7%→2040年56.8%)



産業人材の不足

- ・ 新卒就職者 約16,000人/年 が県外へ流出
- ・ 将来的な産業人材不足の懸念



県立高校の志願者減少・定員割れ

- ・ 私立高校の授業料無償化による影響
- ・ 県立高校の役割の明確化、特色化・魅力化が必要

III 改革の基本的な考え方(3つの視点)

1 自立して生きる力・個性の伸長

AIに代替されない能力や個性を育成し、変化の激しい社会を生きる力を育てる。



2 神奈川の地域・産業を支える人材育成

産業界・大学・地域等と連携し、将来の産業人材を育成するとともに、県内への人材の還流・定着を促進。



3 多様な学習ニーズへの対応

不登校経験、外国につながる生徒など、多様な背景を持つ生徒が安心して学べる、教育機会を確保。



IV 改革の中核となる「3つの施策」

1 専門高校の機能強化・高度化

次世代の産業人材を育成

- ・ AI・データサイエンス、スマート技術等の先端技術を活用した学習
- ・ 産業界・大学と連携した探究活動
- ・ アントレプレナーシップ教育
- ・ 小中学生向け体験講座等による魅力発信



2 普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化

理数系人材・高度人材を育成

- ・ 理数探究を中核としたカリキュラム改革
- ・ 文理横断・探究的な学びの充実
- ・ AI・データ活用力、課題発見・解決力の育成
- ・ 企業・大学等と連携した探究学習
- ・ 理系分野への興味・関心を高める科目等の開発



3 地理的アクセス・多様な学びの確保

誰一人取り残さない教育機会を確保

- ・ 遠隔・双方向配信による学習支援
- ・ 不登校生徒や外国につながる生徒への支援
- ・ 地域・企業と連携した課題解決型探究・キャリア教育
- ・ 小規模校同士の遠隔教育による協働的な学び



V 改革を県全体へ広げる仕組み ～「改革先導拠点(拠点校)」を中心に実践・普及～

3つのタイプの拠点校



職業系専門高校 → 次世代産業人材



普通科高校 → 高度理数系人材



普通科高校 → 多様な生徒を包摂する教育体制



拠点校

カリキュラム・指導方法
評価方法・外部連携の仕組み
を教育モデル化

協力校・県立高校全体へ
段階的に普及



教員研修・人事交流等も活用

VII 改革の進捗管理

推進体制



有識者、経済界、中学校・高校、PTA等による
「神奈川県高等学校教育改革
実行計画推進会議(仮称)」
を設置

数値目標による検証



各分野での指標を設定し、
進捗・成果を検証

主な数値目標の例

専門高校

先端設備の活用
体験教室の実施

普通科

企業・大学との
探究活動の連携

多様な学び

遠隔授業の活用
不登校生徒への
支援の充実

今後の予定



パブリックコメントでいただいた

ご意見を反映して

令和9年3月中の策定を目指します